

一般質問から

15議員にわたり、一般質問が
日ごと行われてきました

3月議会の会議録
を検索システムに
掲載しました。
詳細は市議会ホームページをご覧ください。

観光誘客に道の駅事業を！



杉田 光 議員

問 市長就任以来、重要な政策として推進しているシティプロモーションや観光誘客の施策において、道の駅事業は有効な武器になると考えるが所見を聞きたい。

市長 道の駅は、全国各地で整備され、成功しているところも多い。それらの事例を見ると、市の魅力を発信するような機能を果たしていること認識している。きちんと準備をしてつくり方さえ間違えなければ、市の魅力を発信する非常に重要な武器になり得ると考えている。

問 本市への観光誘客の増大につながるため、観光誘客のプロである旅行代理店と本市の観光資源や物産を取り扱う企業とで、会議や懇談会を設けるべきと考えるが所見を聞きたい。

産業観光部長

ご指摘の企業等との連携は大変重要であると考えている。今後、市または観光協会が旗振りとなり、これらが連携するための会議等を開催していきたい。



▲足利市の観光名所

映像産業の将来性は！



塩田 等 議員

問 「映像のまち」構想については、初めにスタジオ誘致ありきではなく、映像関係の仕事は今後も伸びていくという見通しがあつた上で進めるべきだと思ふ。この業界に将来性があるのか聞きたい。

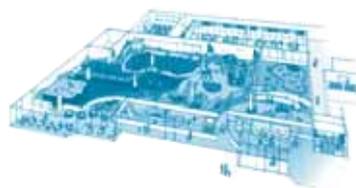
政策推進部長 映像に関するものは一過性のものではないと考える。今までも映画にはじまりテレビ、最近ではインターネットの動画配信などさまざまな形の映像があるので、伸びていく産業であると考えています。

問

子どものための屋内遊戯施設は、年間の売上げをどの程度見込んでいるのか。また、このような施設は定期的な遊具のリニューアル、つまり投資をしていかないと飽きられてしまうが、採算は合うのか。

政策推進部長・福祉部長

年間の売上げについては、入場者数を人口の半分の約7万5千人、利用料を1人200円程度と想定し、約1千500万円程度の入場料収入になると見込んでいる。また、同施設の営業については、先進市の事例を検討し、営業できると判断した。



▲子ども屋内遊戯施設イメージ図

財政の健全化について問う！



中島 由美子 議員

問 新たな産業としての「映像のまち」構想及び民間の活力を活かしての「屋内遊戯施設」に対するあまりにも大きな財政支援のあり方に驚きを隠せない。財政健全化に向けてどのように考えているのか。

一般質問の項目

(質問順)

杉田 光 議員

- 市長の政治姿勢について
- ・道の駅
- ・「映像のまち」構想
- ・企業誘致・新産業用地開発
- ・観光誘客
- ・スポーツ振興
- ・道路保全・河川管理改修
- ・予算編成後の感想
- 教育行政について
- ・学校教育のあり方
- ・子供の虐待

塩田 等 議員

- 市長の政治姿勢について
- ・「映像のまち」構想
- ・屋内子ども遊び場事業
- 平成26年度予算について
- ・財政状況の認識
- ・再生プランの具現化
- ・歳入
- ・歳出
- ・消費税増税に対する本市への影響
- 高齢者福祉について
- ・養護老人ホームの施設整備計画
- ・効果的な高齢者施策の推進

中島 由美子 議員

- 市長の政治姿勢について
- ・平成26年度予算編成
- ・堅実な財政運営
- 働く女性の子育て支援について
- ・放課後児童クラブの拡充
- ・みなし寡婦控除の実施

市政について

3月7・10・12日の3
から質疑に
展開され

質問、答弁とも要旨のみ掲載は、5月下旬からインターネット掲載を予定しております。詳覧ください。

市長

平成26年度末の市債残高は、前年度末見込みから16億円余減少する見込みであるが、そういったところは守りの部分であると思う。一方で足利を元気にするために、攻めの部分が必要であり、予算化の中でめり張りをつけて自分の考えを実現してきたつもりである。

問 放課後児童クラブにおける児童の生活の場として十分な機能が確保される面積は、児童1人当たり1.65平米以上の面積が適当と聞いている。現在、それ以下の施設が18施設もあるが、今後利用者が増えた場合、市はどのように対応していくのか。



福祉部長

市が新たにクラブを新設することは民間クラブに対する影響等を考慮しなければならないので、基本的には民間活力を導入したクラブの開設について支援する方向で考えていきたい。いづれにしても、ニーズ調査の結果をもとに、子ども子育て会議での意見を参考にしながら協議していきたい。

国宝や宝物に関する展示施設を！



中山 富夫
議員

問 歴史展示施設の建設を要望した。観光誘客戦略会議の提言や議員、市民の意見等を参考にしながら議論していきたいとの答弁があったが、その後どのように検討しているのか。

政策推進部長 展示施設の整備は「映像のまち」構想におけるプロジェクト事業のひとつであり、通過型観光から滞留型観光への転換を図る上で重要な施策であると考えている。まずは、来年度に策定を予定している「映像のまち」構想に関する基本計画に、展示施設の整備を位置づけた上で、今後も検討を進めていきたい。

問 平成26年10月に栃木県でねんりんピックが開催され、本市においてはソフトボール競技が実施される。大会を成功させるため、どのように考えているのか所見を聞きたい。

ねんりんピックが実施される。大会を成功させるため、どのように考えているのか所見を聞きたい。

市長

大会期間中には約1万人を超える方々の来足が見込まれ、本市をPRする絶好の機会であると考え。足利学校や国宝鑿阿寺などを巡る無料観光バスやイベント・お土産・物産・グルメ・健康づくりの各ブースを計画し、来足される皆様への「おもてなし」に力を入れていく。



▲ねんりんピック栃木2014のとちまるくん

こころの体温計の導入を！



富永 悦子
議員

問 本市のホームページに「こころの体温計」を導入することにより、市民の健康への注意やうつ病の防止、また早期発見にもつながると考えるが、導入について所見を聞きたい。

福祉部長 「こころの体温計」は、自分自身や家族のこころの健康状態を自宅等でパソコンや携帯を利用し、気軽にチェックできるものである。導入については、先進市の状況を調査し、検討していきたい。



▲こころの体温計
ストレス度が低い場合の例

○災害時における医療体制について
・ 難病患者支援体制の構築

中山 富夫 議員

- 市長の政治姿勢について
- ・ 平成26年度予算編成における感想
- ・ 「映像のまち」構想
- ・ 観光施策
- ・ 新たな産業団地の造成
- ・ ねんりんピック栃木2014
- 福祉行政について
- ・ 障がい福祉サービス

富永 悦子 議員

- 市民の安心生活への制度の整備について
- ・ 障害者総合支援法の取り組み
- ・ 成年後見制度の利用支援事業の推進
- ・ 市民後見人の育成
- 最少の経費で最大の効果を出せる財政執行について
- ・ 新地方公会計制度を導入
- こころの健康づくりについて
- ・ うつ病や自殺防止対策
- ・ ホームページに「こころの体温計」を導入

